

教育・サービス活動

とやま IT フェア 2007 への出展から

総合情報基盤センター 高井 正三

「とやま IT フェア 2007 -IT 利活用による「元気とやま」の創造を目指して-」は、今回が第3回目で、それまで開催された「とやまマルチメディア祭」から12回目を迎え、県内外から出展されたブースは全部で59企業・大学等で、2007年10月24日(水)、25日(木)の平日に開催されました。富山大学からは国立大学法人富山大学と工学部堀田研究室が出展し、前者を代表して総合情報基盤センターから“新生「富山大学」の e-Campus”を紹介しました。具体的には「e-ラーニング・システムの活用、HDV 映像や高齢者向け PC 自習教材コンテンツ開発で、教育システムの情報化を推進する」というテーマで、e-ラーニング・システム活用の現状(写真1右側半分)、HDV 映像コンテンツの作成/編集システム、共同研究している株式会社イーラーニング普及協会と開発した「高齢者向け PC 自習教材コンテンツ」などを出品しました。工学部堀田研究室からは、積雪・降雪時の路面センサーと Google Maps API を活用した雪ハザード・マップの展示があり、インターネットで利用者に通知するシステムが紹介されました。

| | |
|--|--|
| <p>国立大学法人 富山大学</p> | |
| <p>代表者名 学長 西頭 徳三 所在地 〒930-8555 富山市五福3190 Tel 076-445-6946 Fax 076-445-6949 E-mailアドレス info@itc.u-toyama.ac.jp HPアドレス http://www.u-toyama.ac.jp/</p> | <p>業務内容 富山大学は学生9,000人、教職員2,000人を擁する県内唯一の総合大学で、地域に開かれた国際水準の教育研究を提供し、高い使命感と創造力ある人材を、豊かな自然と先進的県民性、e-ラーニング・システムと豊富な教材コンテンツ、最新鋭情報環境と安全で快適なe-Campusの中で育みます。</p> |
| <p>e-ラーニング・システムの活用、HDV映像や高齢者向けPC自習教材コンテンツ開発で、教育システムの情報化を推進する - 新生「富山大学」のe-Campusを紹介</p> | |
| <p>★e-ラーニング・システム活用の現状を紹介 富山大学が提供しているe-ラーニング・システムの種類と利用状況を紹介</p> | |
| <p>★HDV映像コンテンツの作成/編集を紹介 富山大学で使用しているHDV(High Definition Video)作成・編集システムを紹介</p> | |
| <p>★高齢者向けPC自習教材コンテンツを地域のIT企業と共同開発し提供 富山大学が地域の企業と共同研究し、開発した高齢者向けのPC自習教材を紹介 Windows Vista/XP対応のMS Office 2007のWord/Excel等の自習教材コンテンツ Windows OS編、インターネット/メール編、デジタル・カメラとはがき編も含む 今後は、PowerPointをはじめ、Google Map/Earth編や趣味の講座編を開発予定 地域のIT関連企業と共同研究し、高齢者向けのPC自習教材等の研究開発を推進</p> | |
| <p>★教育システムの情報化を、共同で研究開発、推進するIT企業を求む 富山大学と共同で研究開発し、地域社会、高齢化社会に貢献するIT企業を求む</p> | |
| <p>富山大学情報教育研究会 著 B5判並製本 376ページ 富山大学出版会、定価2,835円 (本体2,700円+税) ISBN978-4-340-53005-2 Office 2007をはじめ、代表的な検索エンジンGoogle SearchやGoogle Earthの活用法、聴き手を動かすプレゼンテーション技法まで、大学生はもちろん、ビジネスパーソン必携の一冊</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>国立大学法人 富山大学工学部</p> | |
| <p>代表者名 堀田 裕弘 所在地 〒930-8555 富山市五福3190 Tel 076-445-6758 Fax 076-445-6758 E-mailアドレス mict@eng.u-toyama.ac.jp HPアドレス http://mict.eng.u-toyama.ac.jp/</p> | <p>業務内容 総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)地域ICT振興型研究開発における平成19年度採択課題「地上解像度にスケーラブルな雪ハザードマップ生成とその情報発信」に関する研究成果を出展。</p> |
| <p>研究内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ビデオカメラや全方位カメラ、各種センサーからの情報を統合し、積雪・降雪時の路面状態を高精度に判断可能とする新しい路面センサーの開発 2) 様々な地理的な地上解像度に対応したスケーラブルな雪(降雪・積雪・凍結・路面状態・家屋の積雪耐久度など)ハザードマップの生成技術開発 3) スケーラブルに生成された雪ハザードマップを、ユーザが望む地上解像度で配信や、通行中の車や歩行者に直接知らせる情報表示に関する技術開発 | <p>The diagram illustrates the system's workflow. On the left, various sensors (cameras, etc.) collect data. This data is processed and then transmitted via the Internet to users. The users are shown receiving information on their mobile phones and computers. The system is designed to provide real-time, scalable snow hazard maps to users.</p> |



写真1 富山大学のブース



写真2 総合情報基盤センターの展示



写真3 西頭学長が開会直後に見学，説明する堀田教授



写真4 工学部堀田研究室の展示



写真5 堀田研のメンバーと堀田教授(右から3人目)

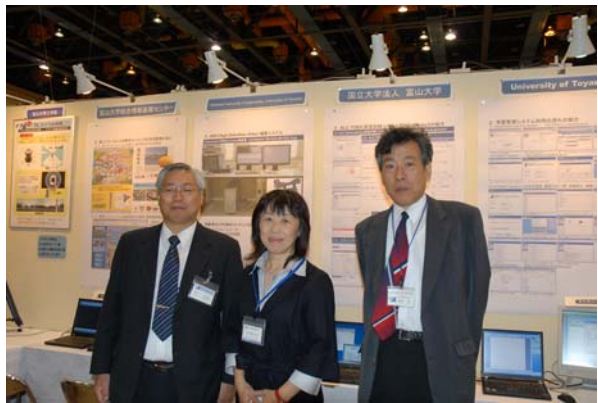


写真6 総合情セのメンバー高井，竹澤，豊本

今年で3年目でしたが，来場者は2日間で約8,000人でした．一般企業相手のB2B展示会ですからやむを得ませんが，ITフェアには次世代を担う職業科の高校生を招待するなどの企画が欲しいと思います．今年度は会場入り口でキャノンがセグウェイの試乗会をやっていましたが，これが一番人気で，特徴的だったのは，携帯電話やタイルなど，立体物に直接印刷することができる巨大なインクジェット・プリンターの展示・実演とSoftbankブースで，結構な人集りでした．

希望としては，石川県の「e-messe kanazawa 2007」のように，4会場の展示ホールを有し，第一回ジャパンエキスポ富山が開催された太閤山ランド辺りのように広い駐車場があり，かつ，土曜日を含む開催日で，県内最大のICTと電子，機械などの製造業や中小企業が参加した，総合フェア「t-messe Toyama 20XX」開催し，未来のテクノロジーを楽しんでみたいと思います．

教育著作権セミナー実施報告

近年、大学等におけるICT活用教育の進展に伴い、eラーニングコンテンツの作成・利用などに関して、著作権の取扱いが重要な課題となってきている。そこで、専門家を講師として招き、教育著作権に関する講演セミナーを開催した。

| | | | | |
|--------|---|-------------|--------------|-----|
| 主催 | 国立大学法人富山大学、メディア教育開発センター | | | |
| セミナー名 | 教育著作権セミナー ― 大学等におけるICT活用教育と著作権 | | | |
| 実施日時 | 平成19年12月6日(木) | 14:00~17:10 | | |
| 会場 | 富山大学五福キャンパス理学部多目的ホール | | | |
| 講師 | メディア教育開発センター教授 尾崎 史郎 (元文化庁著作権課マルチメディア著作権室長) | | | |
| 目的 | 富山大学等の教職員等に著作権の基礎知識を修得させるとともに、著作物等を利用する際に必要な実践的能力を身につけさせる。 | | | |
| 内容 | 著作権制度の概要について解説した後、大学等における著作物の利用に際しての注意点及びICT活用教育を実施する際に必要な著作権に関する知識について具体的に解説を行う。講演終了後に質疑応答を行う。 | | | |
| 参加者数等 | 参加者数 | 61人 | 申込者数(当日受付含む) | 63人 |
| 広報 | 学内：総合情報基盤センターホームページ、学内電子掲示板、ポスター掲示 学外：大学ホームページ、ポスター掲示、チラシ配布 | | | |
| 依頼文書送付 | 大学 | 33件 | 県内機関 | 29件 |

大学等における著作権の取扱いが重要な課題となっていることを反映してか、富山大学の教職員を始め近隣大学および県内教育機関からも多数の参加者があった。

講師の説明は非常に丁寧で、教育現場における具体的な事例に沿いながら要所で勘所を押さえた的確な説明に、聴衆はみな真剣に聞き入っていた。アンケート結果でも、参加して講義を拝聴できて良かったという感想が多く寄せられた。また、講義スライドの写し以外にも、著作権に関する詳しい印刷資料が配布され、時間の関係で説明が省略された部分についても、後で各自知識を深められるような配慮がなされており、非常に有益なセミナーであった。

教育著作権セミナー
— 大学等におけるICT活用教育と著作権 —

主催：富山大学、メディア教育開発センター
日時：平成19年12月6日(木) 14時～17時
会場：富山大学五福キャンパス 理学部多目的ホール (理学部B棟2階 B243)

講師：尾崎 史郎 デディア教育開発センター教授
(元文化庁著作権課マルチメディア著作権室長)

目的
近年、大学等におけるICT活用教育の進展に伴い、eラーニングコンテンツの作成・利用などに関して、著作権の取扱いが重要な課題となっています。
このセミナーは、大学等の教職員等の方々に著作権の基礎知識を修得していただくとともに、著作物等を利用する際に必要とされる実践的能力を身につけていただくことを目的とするものです。

セミナー内容
大学等における著作物の利用
授業や入試問題などに著作物を利用する場合、どのようなときに権利者の許諾が必要で、どのようなときに必要ないかについてわかりやすく解説します。
著作権制度の概要
大学等の教員や事務職員の方々が知っておきたい「著作権」、「著作物の権利」、「著作権の種類」など、著作権の基礎知識を解説します。
ICT活用教育と著作権
コンテンツの制作に当たり著作物を利用する場合の考え方や権利処理の方法、また、学内で作成したコンテンツの権利処理等について解説します。

参加費無料

申込方法
本委員会に告知申込希望の方は、事務局にお申し込みが必要となります。
富山大学総合情報基盤センターのウェブサイト「講演会申込フォーム」から、お申し込み頂けます。
講演会申込フォーム：ウェブページ
http://www.itc.uoyama.ac.jp/procure_outapply/apply.html

| | |
|--------|--|
| 対象 | 大学等の教員、事務職員その他大学等の関係者 その他、著作権に関する知識を必要とする人 |
| 定員 | 60名(事前申込要) |
| セミナー日程 | 13:30～14:00 受付 14:00～16:30 講義(休憩を含む) 16:30～17:00 質疑応答 |
| 質疑応答 | 質疑応答では、参加者からの著作権に関する質問にお答えします。懇話会用紙(受付時に配布)にご記入のうえ、休憩時間にご提出ください。 |

■ お問い合わせ先：富山大学総合情報基盤センター TEL:076-445-6946

表計算講習会（学生向け）報告

1.講習会日程

- 〔基礎編〕 第1日目 平成19年11月12日（月）、13日（火）、15日（木）13:00～14:30
第2日目 平成19年11月19日（月）、20日（火）、22日（木）13:00～14:30
〔応用編〕 第1日目 平成19年12月10日（月）、11日（火）13:00～14:30
第2日目 平成19年12月17日（月）、18日（火）13:00～14:30
（基礎、応用各講習会2回完結）

講師：総合情報基盤センター技術専門職員 畑 篤
技術補佐員 牧野久美

場所：総合情報基盤センター1F 端末室

2.講習会目的

- 〔基礎編〕 Excel2007 を利用して、情報処理科目で学んだ表計算の復習を行うとともに、「Excel」以外の表計算ソフトにも対応できる基本的な事項を習得する。
〔応用編〕 Excel 2007 を利用して、表計算を専門の授業や就職後の実務で活用できる能力を身につける。

3.受講者数

- 〔基礎編〕 学部生7名（人文学部3名 経済学部2名 人間発達学部1名 理学部1名）
〔応用編〕 学部生7名（人文学部5名 経済学部2名）

4.使用教材

「Excel 標準テキスト〔基礎編〕」 技術評論社

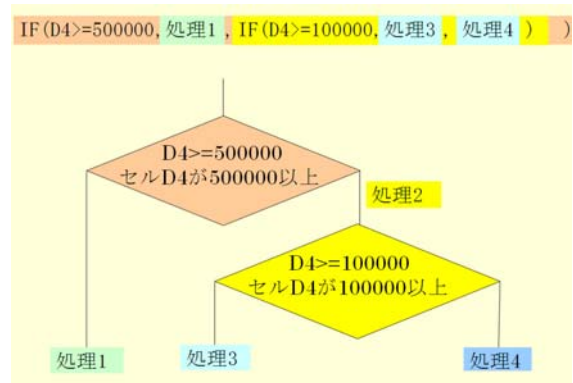
① 内容

(1) 目的

表計算ソフトは、「Microsoft Excel」がシェアの大半を占めているのが日本の現状だ。今回の講習では、データの集計や分析の基礎的な技術を身につけ、多様な環境にも適用できる能力と卒業後の実務にも活用できる応用力を養ってもらうことをねらいとした。

(2) 教材

各項目の最初の説明部分に、「PowerPoint」で作成した教材用い、ディスプレイに映し出し、イメージとしてインプットされるよう、導入部分を工夫した。その後あらかじめ各自のPCにインストールしてもらった練習問題を解き、アウトプットしながら自分のものにしていくという方法で進めた。



<Power Point で作成した教材>

数式の入力では、「Excel」独自の便利な機能は用いず、セルや数式バーに直接入力していった。
また、講習会後も、自主的に学習できるような教材を作成し、表計算の有効な利用法を内容に盛り込み、学生のモチベーションアップにつながるよう工夫した。

② アンケートの結果から

(1) 所属・学年

受講者数の一番多かったのが人文学部の57%次いで経済学部の28%。学年では、3年生が57%、2・4年生が11.5%、1年生の応募は無かった。

日頃の表計算ソフト使用頻度が学部や学年の受講者数と関係していると思われる。

(2) きっかけ

ほとんどの学生が、学部のポスターから情報を得ており、次いで基盤センターのポスター、知人、先生という回答が少数あった。

ポスターでの広報の重要性を感じた。今後デザイン・掲示の場所・タイミングなどにも配慮していく必要がある。

(3) 時期・日時

曜日は「適当だった」との回答が大半だったが、月曜、火曜以外の希望もあった。時間は「13:00~15:00」希望との回答がほとんどで、「15:00~17:00」の希望も数人あった。

(4) 受講目的

目的は、参加者全員が「就職準備」を理由にあげており、卒業後の実務で役立てたいという意識が高いことがわかった。

(5) 難易度

〔基礎編〕では「普通」の回答がほとんどだった。〔応用編〕では、半数以上が応用のみの受講者だったこともあり、「やや難しかった」の回答が多かった。各学生の理解度に差があるように感じられるので、教材をさらに工夫し、内容を充実させていく必要がある。

(6) 今後の希望コース

Power Point, Excel, Access, C 言語初歩, 初級シスアド試験対策

(7) 受講者の感想

- ・基本がわかっていなかったのが、作業が短縮できるようになって良かった。
- ・人文学部にはない授業なので受講できてよかった。また、少人数制なので、質問もしやすく、スピードも適当でわかりやすかった。
- ・丁寧な説明でわかりやすかった。
- ・初めて習った内容であるため、理解するのに時間がかかったが、丁寧に教えていただいて、問題を一通りこなすことができるようになった。



③ おわりに

今回の講習は、どのような表計算ソフトにも対応でき、応用して活用するために必要な表計算の概念を理解してもらうことに焦点を絞った。講習会終了後は、窓口でのテキスト貸出や質問対応のできる限りの自主学習、復習の支援を行った。

学生からは、「自主的にテキストで学習するよりすぐ質問できるので、効率的に進めることができた。」「今後の学習の良いきっかけとなった。」という生の声を聞くことができた。ただ、〔基本編〕から〔応用編〕への継続率が43%と低かったため、〔応用編〕で基本の内容をフォローするのに手間取った点は、今後の講習会の企画のなかで活かしていきたい。受講者の皆さんが今回の講習をきっかけに、自主的に学習の幅を広げ、より実践的で専門性の高い知識を習得され、スキルを今後役立ててもらえることを願う。

限られた時間を有効に利用し、個人学習を個人の進度や理解度に応じて効率的に学んでいける環境の整備が社会環境の変化とともに学内外で急速に進んでいる。学内の授業でも、「学習管理システム」が導入され、学生それぞれの学習環境の幅が広がっている。授業以外の補助的な講習会の充実や、学内のシステムを利用したより便利な学習環境も必要とされている。

今後もニーズを把握し、環境の変化に対応しながら、より質の高い学習環境を提供し、支援できるよう努力していきたい。

学内講習会実施報告

平成 19 年度、総合情報基盤センターでは以下のとおり、17 回の学内講習会を実施しました。

| | |
|------|--|
| 講習会名 | 「情報処理」における WebCT の利用法 |
| 開催日時 | (日程 A)2007 年 4 月 17 日(火) 16:30~17:30 (日程 B)2007 年 4 月 18 日(水) 16:30~17:30 (日程 C)2007 年 4 月 20 日(金) 16:30~17:30 (日程 D)2007 年 4 月 23 日(月) 16:30~17:30 ※日程 A~D はすべて同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F or 4F 端末室 |
| 受講対象 | 平成 19 年度情報処理授業担当者およびその T A |
| 受講者数 | 日程 A:4 人, B:4 人, C:4 人, D:1 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 上木佐季子 |
| 講習内容 | WebCT 上の情報処理授業用コースの使用法 ・用意された課題の提示方法 ・用意されたテストの提示方法 ・課題・テストの評価方法 |

| | |
|------|---|
| 講習会名 | WebCT CE6 初心者講習(9 月) |
| 開催日時 | (日程 A)2007 年 9 月 18 日(火) 13:30~15:00 (日程 B)2007 年 9 月 19 日(水)13:30~15:00 (日程 C)2007 年 9 月 20 日(木)13:30~15:00 (日程 D)2007 年 9 月 21 日(金)13:30~15:00 ※日程 A~D はすべて同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 端末室 |
| 受講対象 | 教員(ただし, WebCT 初心者), 大学院生 |
| 受講者数 | A:1 人, B:2 人, C:0 人, D:0 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 上木佐季子 |
| 講習内容 | 学習管理システム WebCT について, WebCT 初心者を対象にした実習形式の入門講習。 【主な実習内容】 講義資料の公開 ・絡事項の作成 ・題の作成・評価 ・テスト・アンケートの作成・評価 ・評価データを Excel で読み込む手順 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | WebCT CE6 初心者講習(10 月) |
| 開催日時 | (日程 A)2007 年 10 月 9 日(火) 13:00~14:30 (日程 B)2007 年 10 月 10 日(水)13:00~14:30 (日程 C)2007 年 10 月 11 日(木)13:00~14:30 (日程 D)2007 年 10 月 12 日(金)13:00~14:30 ※日程 A~D はすべて同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 端末室 |
| 受講対象 | 教員(ただし, WebCT 初心者), 大学院生 |
| 受講者数 | A:1 人, B:0 人, C:0 人, D:1 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 上木佐季子 |
| 講習内容 | 学習管理システム WebCT について, WebCT 初心者を対象にした実習形式の入門講習。 |

| | |
|--|---|
| | 【主な実習内容】 講義資料の公開 ・絡事項の作成 ・題の作成・評価 ・テスト・アンケートの作成・評価 ・評価データを Excel で読み込む手順 |
|--|---|

| | |
|------|---|
| 講習会名 | グラフ作成ソフト カレイダグラフ入門 |
| 開催日時 | (第 1 回)2007 年 10 月 16 日(火)16:30~18:00 (第 2 回)2007 年 10 月 17 日(水)14:45~16:15 ※第 1 回と第 2 回は同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 端末室 |
| 受講対象 | 学生・教職員 |
| 受講者数 | 第 1 回:0 人, 第 2 回: 6 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 木原寛 |
| 講習内容 | 実習によるカレイダグラフ入門。 【主な内容】 ・散布図と回帰曲線 ・グラフの編集 ・グラフの書き出し ・グラフのレイアウトと印刷 ・数式入力の手順 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | 表計算講習会 (基礎) |
| 開催日時 | (日程 A) 2007 年 11 月 12 日(月),19 日(月) (日程 B) 2007 年 11 月 13 日(火),20 日(火) (日程 C) 2007 年 11 月 15 日(木),22 日(木) 13:00~14:30 ※日程 A~C はすべて同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 端末室 |
| 受講対象 | 学生 |
| 受講者数 | 日程 A:6 人, B:0 人, C:0 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 畑篤, 牧野久美 |
| 講習内容 | 本講座は 2 回完結。 【目的】Excel2007 を利用して, 情報処理科目で学んだ表計算の復習を行うとともに, Excel 以外の表計算ソフトにも対応できるよう基本的な事項を習得する。 【講習会内容】 第 1 回目 1. セルへのデータ入力 2. 表の作成 3. 関数を使った計算-1 第 2 回目 4. 関数を使っての計算-2 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | はじめての PowerPoint |
| 開催日時 | (日程 A) 2007 年 11 月 15 日(木)14:45~16:15 (日程 B) 2007 年 11 月 16 日(金)16:30~18:00 ※日程 A, B は同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 第三端末室 (3 階) |
| 受講対象 | 教員(ただし, PowerPoint 初心者) |

| | |
|------|---|
| 受講者数 | 日程 A:1 人, B:2 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 高井正三 |
| 講習内容 | <p>プレゼンテーション・ソフトウェア PowerPoint2007 を使ってスライドを作成し、発表する方法を習得します。PowerPoint(2007)初心者を対象にした実習形式の入門講習会です。</p> <p>【主な実習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint の起動とスライドの作成、保存と終了の方法 ・既存スライドの呼び出し、複写、再編集、移動、追加、削除の方法 ・スライド・ストーリーの組み立て方 ・表・グラフ・図形作成と写真画像の組み込み方法 ・リハーサルとプレゼンテーションの実行・戻り・中断・再会の方法 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | はじめての Excel |
| 開催日時 | (日程 A) 2007 年 11 月 29 日(木)14:45~16:15 (日程 B) 2007 年 11 月 30 日(金)16:30~18:00 ※日程 A, B は同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 第三端末室 (3 階) |
| 受講対象 | 教員 (ただし, Excel 初心者) |
| 受講者数 | 日程 A:3 人, B:2 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 高井正三 |
| 講習内容 | <p>表計算ソフトウェア Excel を使って表を作成し集計し、グラフを作成する方法を習得します。Excel(エクセル 2007)初心者を対象にした実習形式の入門講習会です。</p> <p>【主な実習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excel の起動と計算表 spread sheet の作成、保存と終了の方法 ・既存 spread sheet の呼び出し・再編集、行・列の追加・削除・移動の方法 ・グラフの作成方法、グラフの種類と特性 ・条件付き書式の使用法 ・印刷・保存の方法 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | 並列プログラミング入門 |
| 開催日時 | (第 1 回) 2007 年 12 月 3 日(月)14:45~16:15 (第 2 回) 2007 年 12 月 4 日(火)16:30~18:00 ※第 1 回と第 2 回は同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 第 1 端末室 (1 階) |
| 受講対象 | <p>教員・学生</p> <p>はじめて並列プログラミングをする方を対象にした入門講習会 (予備知識) C または Fortran の初歩的な知識を有する方 コマンドライン操作の経験のある方</p> |
| 受講者数 | 第 1 回:7 人, 第 2 回:1 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 布村紀男 |
| 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・並列プログラミング入門(概要説明) ・MPI プログラミングの初歩(実習) ・OpenMP によるスレッド並列プログラミングの初歩(実習) ・その他(高速計算サーバの利用、環境構築などの相談) |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | Web サーバセキュリティ講習会 |
| 開催日時 | (第 1 回) 2007 年 12 月 10 日(月)14:45~16:15 (第 2 回) 2007 年 12 月 11 日(火)16:30~18:00 ※第 1 回と第 2 回は同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 第 1 端末室 (1 階) |
| 受講対象 | 学内ネットワークに接続して Web サーバを運用されている管理者 (教職員・院生)または予定者(教職員・院生) |
| 受講者数 | 第 1 回:7 人, 第 2 回:7 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 布村紀男 |
| 講習内容 | <p>Apache Web サーバを中心に Web サーバセキュリティの要点の学習</p> <p>【主な実習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークセキュリティ入門 ・サーバセキュリティの基本 <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスリスト(ACL)設定(TCP Wrapper) ・リモートアクセスの設定(SSH) ・iptables 等による ACL 設定 ・不要なサービスの停止 ・Web サーバセキュリティ <ul style="list-style-type: none"> ・Web サーバのセキュリティの基本 ・Web サーバのアクセスコントロール ・Web サーバのログチェック |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | 表計算講習会(応用) |
| 開催日時 | (日程 A)2007 年 12 月 10 日(月), 17 日(月) (日程 B) 2007 年 12 月 11 日(火), 18 日(火) 13:00~14:30 ※日程 A, B は同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター (日程 A) 第 2 端末室・2 階 (日程 B) 第 1 端末室・1 階 |
| 受講対象 | 学生 |
| 受講者数 | 日程 A:5 人, B:2 人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 畑篤, 牧野 久美 |
| 講習内容 | <p>本講座は 2 回完結。</p> <p>【目的】 Excel2007 を利用し、表計算を専門の授業や就職後の実務で活用ができるような能力を身につける。</p> <p>【講習会内容】</p> <p>第 1 回目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複数の条件を指定する(IF 関数) 2. 条件に合うデータの件数を数える (COUNTIF 関数) 3. データの順位付けをする(RANK 関数) 4. データを参照する(VLOOKUP 関数, HLOOKUP 関数) <p>第 2 回目</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. セルの参照と複数の条件の設定(INDEX 関数, OR 関数, AND 関数) 6. データベース |

| | |
|------|---|
| 講習会名 | WebCT 初心者講習会(杉谷キャンパス) |
| 開催日時 | 2007年12月21日(金)14:30~16:00 |
| 開催場所 | 杉谷キャンパス 情報処理室(大) |
| 受講対象 | 教員(ただし, WebCT 初心者) |
| 受講者数 | 8人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 上木佐季子 |
| 講習内容 | 学習管理システムWebCTについて, WebCT 初心者を対象にした実習形式の入門講習 【主な実習内容】 ・講義資料の公開 ・連絡事項の作成 ・課題の作成・評価 ・テスト・アンケートの作成・評価 ・評価データを Excel で読み込む手順 |

| | |
|------|---|
| 講習会名 | WebCT による成績管理 |
| 開催日時 | (日程A)2008年2月14日(木)14:45~16:15 (日程B)2008年2月15日(金)14:45~16:15 ※日程A, Bは同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 第1端末室 |
| 受講対象 | 教員(ただし, WebCT 利用者) |
| 受講者数 | 日程A:1人, B:2人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 上木佐季子 |
| 講習内容 | 学習管理システム, WebCT の成績管理についての実習形式講習。 【主な実習内容】 ・グレードブックのカラム作成・編集 ・グレードブックのデータを Excel に取り込む ・Excel のデータをグレードブックに取り込む ※グレードブック:WebCT の成績管理ツール) |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | 統計ソフトウェア JMP 初級講座 |
| 開催日時 | 2007年12月25日(火)14:45~16:15 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 3F 第3端末室 |
| 受講対象 | 教員(ただし, JMP の初級者) |
| 受講者数 | 4人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 高井 正三 |
| 講習内容 | 対話型統計ソフトウェア JMP を初めて使って, 統計処理やグラフを表示する方法を, JMP を実際に使用しながら操作方法を学習する。JMP(Ver.6)初級者を対象にした実習形式の入門講習会。 【主な実習内容】 ・JMP の起動と終了 ・JMP スタターでの環境設定 ・Sample Data による JMP の操作演習 ・JMP を使用して分析できる機能の紹介 ・JMP 解説書の紹介 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | WebCT によるオンラインテストの作成・管理 |
| 開催日時 | (日程A)2008年2月28日(木)14:45~16:15 (日程B)2008年2月29日(金)14:45~16:15 ※日程A, Bは同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 第1端末室 |
| 受講対象 | 教員(ただし, WebCT 利用者) |
| 受講者数 | 日程A:1人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 上木佐季子 |
| 講習内容 | 学習管理システム WebCT によるテストの作成および管理についての実習形式講習。 【主な実習内容】 ・質問の作成 ・テストの作成 ・答案の管理 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | PowerPoint 初級講座 |
| 開催日時 | (日程A)2008年2月7日(木)14:45~16:15 (日程B)2008年2月8日(金)16:30~18:00 ※日程A, Bは同じ内容 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 4F 第4端末室 |
| 受講対象 | 教員(ただし, PowerPoint 初級者) |
| 受講者数 | 日程A:4人, B:1人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 高井 正三 |
| 講習内容 | PowerPoint2007を使って, スライドにアニメーション効果を付け, 発表のリハーサルを行って, 華麗なる演出の仕方を習得する。PowerPoint(2007)初級者を対象にした実習形式の入門講習会。 【主な実習内容】 ・スライドへのデザイン・テーマの適用, 配色とフォントの選択, 効果の設定方法 ・スライド・マスタを使用した, スライドの書式, 配布資料へのヘッダー・フッター書式の統一方法 ・スライド画面切替効果の設定方法 ・各スライドへのアニメーション効果の設定方法 ・リハーサルと自動スライド・ショーの実行方法 |

| | |
|------|--|
| 講習会名 | webMathematica サーバ説明会・入門講習 |
| 開催日時 | 2008年3月5日(水) |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 第1端末室 |
| 受講対象 | 教員 |
| 受講者数 | 2人 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 木原寛 |
| 講習内容 | webMathematica サーバを利用する方を対象とした実習形式の入門講習。 |

| | |
|------|---|
| 講習会名 | WebCT 初心者講習 (3月) |
| 開催日時 | 3月下旬開催 |
| 開催場所 | 総合情報基盤センター 1F 第1端末室 |
| 受講対象 | 教員(ただし, WebCT 初心者), 大学院生 |
| 担当講師 | 総合情報基盤センター 上木佐季子 |
| 講習内容 | 学習管理システム WebCT について, WebCT 初心者を対象にした実習形式の入門講習。 【主な実習内容】 講義資料の公開 ・連絡事項の作成 ・問題の作成・評価 ・テスト・アンケートの作成・評価 ・評価データを Excel で読み込む手順 |

パスワードの再発行に関する報告

総合情報基盤センターでは、情報システム用パスワードを忘却した人のためにパスワードの再発行を行っています。

五福キャンパスにおいては、平成 18 年 4 月からパスワード初期化申請の受け付けを当日の 16 時までとし、16 時半に再発行を行うようにしています。図 1 は、平成 15 年度から平成 19 年度の 4 月から 12 月までのパスワードの再発行状況です。

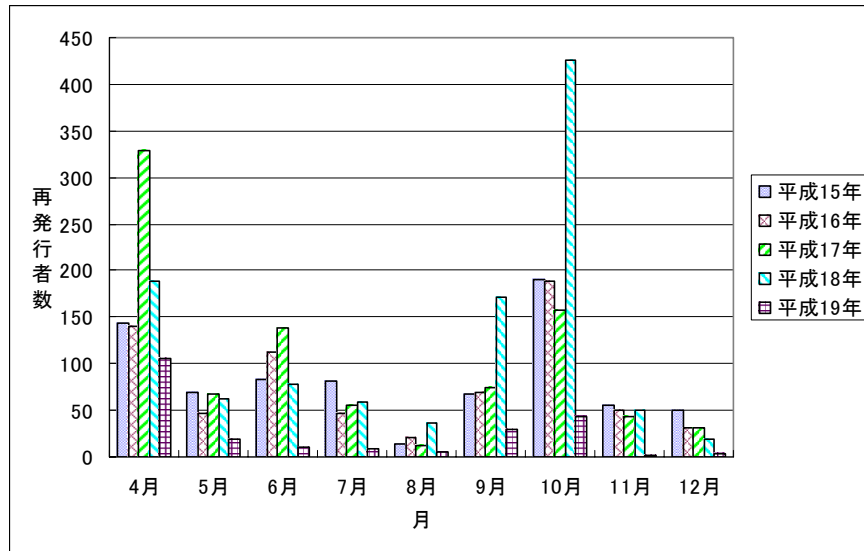


図 1 五福キャンパスでのパスワード再発行状況

平成 18 年 10 月に学生が利用する大半のシステムでは、LDAP を利用したパスワード認証を行っています。このことにより利用者は複数の ID、パスワードを持つ必要がなくなったため、昨年(平成 17 年)の 11 月以降パスワードの再発行が激減しました。平成 18 年の 10 月のパスワードの再発行が格段に多いのは、教務システムが端末の認証システムと統合したことによるものです。4 月に再発行が多いのは、履修申告によるもので再発行者数は、学年進行とともに増えています。

ユーザ認証を統一化したことにより、同一 ID、パスワードで各種システムが利用できる反面ユーザ ID とパスワードが第三者に知られた場合、被害が甚大となります。利用者はユーザ ID、パスワードの管理には十分注意してください。

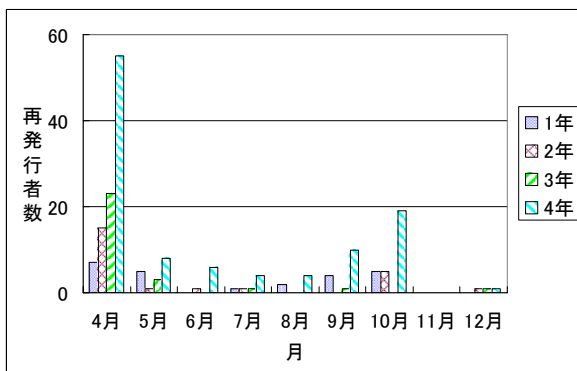


図 2 学年別再発行状況

富山大学のシステムでパスワードが同期されているもの、ユーザ ID については以下の関係図のとおりです。

総合情報基盤センター パスワード関係図

以下のシステムのパスワードは、連携しています。

| ユーザ ID | 学務部教務課 | 学務部教務課 | 学務部教務課 | 学務部教務課 | 総合情報基盤センター |
|----------|------------|----------|------------|----------|------------|
| u0123456 | u0123456am | u0123456 | u0123456am | u0123456 | u0123456 |

図 3 パスワード相関図

総合情報基盤センター貸し出しソフトウェア一覧

富山大学総合情報基盤センターでは、下記のソフトウェアについてライセンス契約を結んでおり、利用資格を満たす希望者に対してライセンスの貸出しを行っています。

利用に関する詳細は、センターの Web ページを参照ください。

URL : <http://www.itc.u-toyama.ac.jp/service/license.html>

平成 20 年 2 月 1 日現在

| ソフトウェア | Ver. | 利用用途等 | 利用申請資格者 |
|------------------------------|----------------|------------------|--|
| Symantec AntiVirus (Windows) | 10.1.6 10.2 | ウイルス対策 | 本学の教職員 |
| Symantec AntiVirus (MacOS X) | 10.0 | | |
| Symantec AntiVirus (MacOS) | 9.0.1 | | 五福キャンパスの教員 |
| トレンドマイクロ ウイルスバスター (Windows) | 2008 | | |
| マカフィー ウイルススキャン* (MacOS) | 6.1J | | 五福・杉谷キャンパス教員 |
| JMP | 6.03 | データ分析/ 統計 | 五福・杉谷キャンパス |
| SPSS Base System | 16 | 統計解析 | 本学の教員 |
| Eviews | 6 | 計量経済学 データ分析 | 五福キャンパスの教員 |
| Matlab | 2007a | データ解析, モデリング等 | 本学の教員 |
| Mathematica | 6 | 数式処理等 | 原則として理学部数学科・物理学 学科・地球科学科, 工学部電気 電子システム工学科の教員 |
| MolStudio | 4 | 分子軌道計算 プリ・ポスト | 高速計算サーバ利用登録者 |
| Barista | 1.2 | 配座計算 プリ・ポスト | 五福キャンパス高速計算サー バ利用登録者 |
| ANSYS Multiphysics | 9.0 | 連成物理解析 ツール | 高速計算サーバ利用登録者 |
| Marc/Mentat | 2005v2 | 構造解析 | 高速計算サーバ利用登録者 |
| Amber | 8 | 分子力学・動力 学計算 | 高速計算サーバ利用登録者 |
| Gaussian | 03D.01 | 分子軌道計算 | 五福・杉谷キャンパス 高速計算サーバ利用登録者 |
| Intel Fortran Compiler | 10 | コンパイラ | 五福キャンパスの教員 |

※ 「マカフィー ウイルススキャン」については、MacOS 9.0 以下のメーカーサポートが打ち切られたため、継続契約を行っていません。よって、平成 20 年 4 月 1 日以降の利用はできません。

端末室オンデマンド・プリンタのトラブル対処法

総合情報基盤センター 技術専門職員 豊本 勉

端末室設置のオンデマンド・プリンタ Ricoh IPSiO CX9800 利用時におけるトラブルの中で、最も多いのは紙詰まりであり、このトラブルは利用者の方で比較的簡単に対処できるので、操作部のディスプレイに表示されるエラーメッセージを見て、下記の方法で解決して頂きたいと思います。これ以外のトラブルや対応方法については、操作部の警告メッセージをセンター職員・テクニカル・アシスタントに連絡した上で、指示に従って対応して頂きたいと思います。

1. 利用者で対応できる「紙詰まり」対処法

1.1 紙詰まり現象と発生場所

オンデマンド・プリンタでの紙詰まり表示は写真1、及び2の様に表示されます。

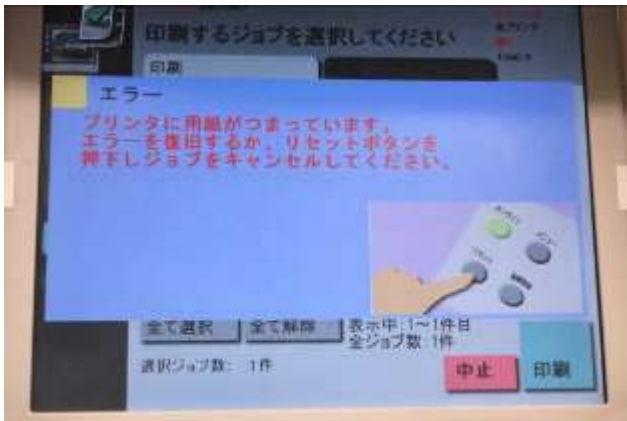


写真1 紙詰まりのデマンド・ディスプレイのエラー表示



写真2 紙詰まりのプリンタ操作部上のエラー表示

紙詰まりは、プリンタ装置に向かって左側の両面印刷ユニット、定着ユニットある B サイドか、給紙トレイの右側 A サイドの給紙前の本体内部か、両面印刷時の B サイド反転ユニット内部か、プリンタ中央の両面搬送ユニット内部で発生します。

このとき、詰まった用紙を勢よく引っ張り出すと、用紙が破れ、機器の内部に紙片が残る可能性があります。一部紙片が残った場合は、コールサービスに連絡して、取り除いてもらいますので、総合情報基盤センターに連絡して下さい。

何度も用紙が詰まる場合は、セットした用紙のサ

イズや給紙方向が合っていないことがあります。



写真3 プリンタのすべての扉を開けた状態

本体排紙部サイドか本体右下カバー側Aサイドのどちらかから、詰まった用紙を取り除きますが、連続印刷の場合はB、Aの2箇所にも紙が詰まります。

1.2 「ヨウシミスフィードA：ホンタイナイブ」の場合

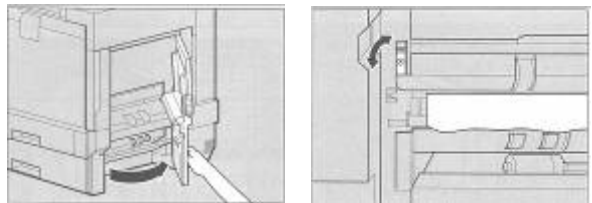


図4 左：カバーを開ける 右：レバーを上下に動かす

- 1) プリンタ A サイド本体右下カバーのレバーを、図4左の様に引いて開けます。
- 2) 図4右の様に、左上の青色のレバーを上下に動かして、詰まった用紙を送り、用紙をつまんで、ゆっくりと引き抜きます。
- 3) カバーを閉めます。

1.3 「ヨウシミスフィードY：キュウシトレイ」の場合

- 1) トレイを少し引き出して中を調べ、用紙が詰まっているか確認します。
- 2) 用紙がトレイに引っ掛かっている場合は、用紙を破れないように、ゆっくり引き抜きます。

1.4 「ヨウシミスフィードB: テイチャクユニット」の場合



写真5 プリンタの両面・定着ユニットを開ける

- 1) 両面印刷ユニットを取り付けているときは、両面反転ユニットを開きます(写真5左)。
- 2) プリンタ本体の左上カバー下部の取手をもち、ゆっくりと引き出します(図5右)。

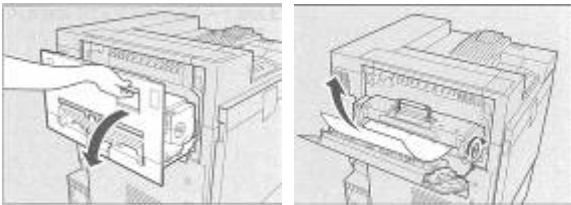


写真6 定着ユニットのカバーを開け、ダイヤルを回す

- 3) プリンタ体の左上カバー上部の取手をもち、ゆっくりと開けます(図6左)。
- 4) 青色のダイヤルを手前方向に回して、詰まった用紙を送り、ゆっくりと引き抜きます(図6右)。
- 5) プリンタ本体の左上カバーを閉め、下部の取手横に貼られている「PUSH」の部分を押して、ガチッと音がするまで押し込みます。
- 6) 両面反転ユニットを閉じます。

1.5 「ヨウシミスフィードZ1: リョウメンハンテンユニット」の場合

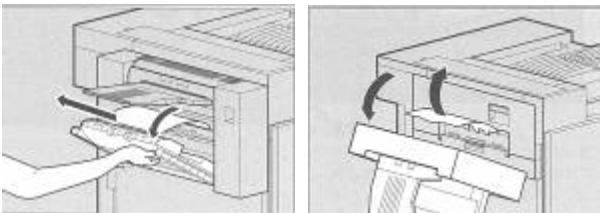


写真7 両面反転ユニットのカバーを開けて、紙を引き出す

- 1) 両面反転ユニットの左カバーを開け、詰まった紙を取り除きます(図7左)。
- 2) 両面反転ユニットの右上に、あるロック解除ボタンを押し上げてユニットを止まるまで倒します。
- 3) 詰まった紙を引き抜きます(図7右)。
- 4) 両面反転ユニットを元に戻します。

1.6 「ヨウシミスフィードZ2: リョウメンハンソウユニット」の場合

- 1) プリンタ本体の前カバーを開け、付属の専用ネジ回しを使って、両面搬送ユニットを固定しているネジを1本外します(図8左)。
- 2) つまみをつかんで、両面搬送ユニットを半分ま

でゆっくり引き出します。

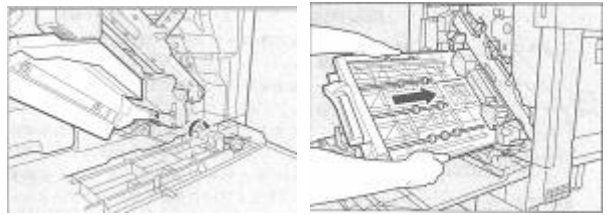


写真8 前カバーを開けて両面搬送ユニットを引き出す

- 3) 両手で両面搬送ユニットを持って、まっすぐ引き抜きます(図8右)。
- 4) 両面搬送ユニットを床に置き、ゆっくり開いて詰まった紙を取り除きます。
- 5) 両面搬送ユニットを閉じて、元の位置に取り付けます。

1.7 印刷の再開

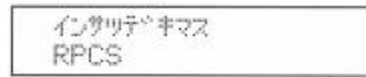


図9 プリンタ操作部の正常表示

- 1) プリンタ操作部に上記「インサツデキマス」のメッセージが表示されます(図9)。
- 2) メッセージを確認した後、オンデマンド操作を再開し、プリント出力を行って下さい。

2. その他の操作メッセージへの対応

消耗品の交換等のメッセージを表示している場合は、センター職員・テクニカル・アシスタントへ連絡して、表示メッセージを伝え、指示を待ちます。

「インサツデキマス」が表示されている場合、その表示の間、約1000枚は印刷できます。

以下のようなメッセージの時は連絡して下さい。

- (1) トナーヲホキウシテクダサイ XXX/XXX
…XXX色のトナーが無くなった時の表示
- (2) K-カンコウタイコウカン/Kカンコウタイワズカ
…ブラック感光体セットの交換時期/間近の表示
- (3) 3Cカンコウタイコウカン/3Cカンコウタイワズカ
…カラー感光体セットの交換時期/間近の表示
- (4) テイチャクコウカン/テイチャクニアエンド
…定着ユニットの交換時期/間近の表示
- (5) ハイトナーボトルヲコウカンシテクダサイ/ハイトナー
フルマヂカ…廃トナーボトルの交換時期/間近の表示

3. トライし、みんなで協力し合って使いましょう

まずは各自トライしてみましょう。利用者みんなで協力し合って使いましょう。

[参照] RICOH IPSiO CX9800/CX8800 セットアップガイド、同メンテナンスガイド